

謹賀新年



我が千支歳
虎は千里往って 千里還る

甲賀市議会議員 田中 喜克



「選ばれるまちづくり」への
新たな挑戦

甲賀市長 岩永 裕貴

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が長期化し、日常の暮らしにも大きな影響がある中、市民の皆様には感染防止等に多大なるご協力をいただいておりますこと心より感謝申し上げます。また、ワクチン接種を含めコロナ対応にご尽力いただいております医療関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

この2年間は、地域や学校行事等の中止が相次ぎ、大変残念な思いをされた方も多かったことと思います。今年こそは、まちに皆様の笑顔と活気があふれる年となることを切に願うものです。

本市は基礎自治体として、国・県等には見えない、市民一人ひとりの生活の現場をお預かりしています。新型コロナウイルスから皆様の健康と暮らしを守りながらも、甲賀市の将来を切り開くため、今取り組むべき課題に果敢に挑んでいく所存であります。

このことから、第2次甲賀市総合計画第2期基本計画の趣旨を踏まえ、「新しい豊かさ」への挑戦を軸に、引き続き新型コロナウイルスへの対策はもとより、移住・定住施策、誰一人取り残さない地域共生社会への施策を着実に進めてまいります。また、人口減少や少子高齢化が、コミュニティ活動に大きく影響を及ぼしていることから、将来にわたり持続可能な地域を次世代につなぐために、地域コミュニティと行政とのさらなる連携による新たな仕組みづくりにも取り組んでまいります。そして、いよいよ本年6月に「第72回全国植樹祭」が開催されます。こうした好機を活かし、またコロナ禍による時代の大きな転換期を前向きに捉え、「選ばれるまちづくり」を着実に進めてまいりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、本年が明るく希望に満ちた年となりますと共に、皆様の健康とご多幸を心からお祈り申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より本市議会の運営並びに活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、「コロナ禍」という言葉が世の中を席卷し、新型コロナウイルスの感染拡大によって、私たちの生活は厳しく、また著しく変化した一年でした。

国では感染拡大防止の緊急事態宣言等の措置を講じられ、甲賀市においては、いち早く、市民の立場に立ったコロナワクチン接種体制を確保し、市内医療機関を始め、関係各位の多大なるご尽力のもと、円滑にワクチン接種を実施いただきました。深く感謝を申し上げます。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の甲賀市ゆかりの選手では、ライフル射撃競技の山田聡子さん、ブラインドマラソンの藤井由美子さん、トライアスロンの宇田秀生さんが大活躍され、私たちに夢と感動を与えていただくとともに、何事にも高く燃え上がる甲賀市民の秘めた力を広く国内外に知らしめていただきました。本当にありがとうございます。

さて、甲賀市は、岩永市長の二期目二年目の年となり、市長の指揮のもと、市政の実施展開がより大きく伸び、勢いを増す飛躍の年であればと願います。今年の干支である「寅」を用いた故事には、「虎は千里往って千里還る」という言い伝えがあります。

これは、虎は一日で千里の道を往復できると言われることから、「勢いの盛んなさま」、「子どもたちのいる里に戻る、愛情の深いさま」を言います。

この最良のときにあたり、市議会および議員は、自らの役割、活動の原点に立ち戻り、より積極的に住民活動の中に入り、「住民の必要とすること」、「求めていること」を見つけ、「虎」の故事に沿って、市政に関わる政策形成に参画し、議会改革に取り組む所存です。

市民の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多き一年になりますことを心から祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。